



「見る」を科学する —視覚の不思議—

発表者

国際文化化学研究科 准教授 長田 和美

発表の概要

「目で見た景色」と「写真に写る景色」がなんだか違う。そんな違和感を覚えたことはありませんか？例えば、雄大な山を写真に撮ると実際より小さく感じたり、遠くにあるように感じたりすることがあります。実際に私たちが見ていると思っている世界は、写真やCGで表現される世界とどのように違うのか。人がどのように「大きさ」や「遠近感」を感じているのかを視覚心理実験により明らかにし、人の知覚に近い世界をCGで再現する新しい映像生成技術を開発しています。写真や映像、VR、さらに人の見方や感じ方に興味をお持ちの方をはじめ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2025年 6月25日（水）16:20-17:50

会場 山口県立大学3号館 C311教室

発表者プロフィール

山口大学工学部感性デザイン工学科にて建築、情報、デザイン、心理学などを学ぶ。同大大学院に進学。単位取得退学後、大手電機メーカーにて、画像認識技術に関する研究に従事。2015年、山口にUターン。山口大学で産学連携、山口芸術短期大学で基礎デザインや情報リテラシー、知的財産等の教育を担当。

山口国際文化化学研究会とは：

グローバル化の進む今日、文化と文化が交差し交流する場面がますます増え、そこから新たな可能性とともに課題も生じています。毎回さまざまなテーマを取り上げ、学際的な報告や討論を行っています。

主催：山口県立大学大学院国際文化化学研究科

院生世話人：赤木裕子、伊藤巧、近藤義則、芝崎理恵、朱泳霖、中山裕美子、福ヶ迫喜美、宮本光里/ 教員世話人：斉藤理

お問い合わせ 山口県立大学大学院 事務室 TEL: 083-929-6525（内線6577）

ypugsa@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp